



おおとりちゅうがっこうだよ

大鳥中学校便り

だいにごう
第二号

がっこう きつやく もくひょう ゆた こころ はく しゅかい たいせつ
学校教育目標 ~豊かな心を育み、社会のかかわりを大切に~
かん こころ とく かんがえ ちから たい こうどう とりちゅうせい こう かい
〇感じる心(徳) 〇考える力(知・体) 〇行動する鳥中生(公・閑)

よこはましりつ おおとりちゅうがっこう
横浜市立大鳥中学校
こう ちょう しんじょう ひろし
校長 新庄 広

おおとりちゅうがっこう せいとひとり

大鳥中学校の生徒一人ひとりの「わかった!」のために

しぎょうしき はや げつじょう た ねんせい しゅうがくりょうこう ねんせい しぜんきょうしつ お
始業式から早いもので1か月以上が経ちました。3年生の修学旅行、1年生の自然教室も終わり、
がつよつ つかいさいよてい たいいくたいかい む かく おおなわ れんしゅう ねつ はい
6月4日開催予定の体育大会に向けて、各クラスでは大縄の練習に熱が入ってきています。

おおとりちゅうがっこうだよ だいにごう さくねんどうよう おおとりちゅうがっこう こべつさいてき がくしゅうかんきょう くふう
「大鳥中学校便り第二号」では、昨年度同様、大鳥中学校の個別最適な学習環境をつくる工夫に
ついてお伝えします。

一般学級の教室で行われる一斉授業の他に以下のような教室があります

- 〇 さまざまな特性や困難を抱える生徒の学びを支える場として・・・学習室
 - 〇 一般教室に入ることによる不安を感じる生徒が、安心して過ごせる居場所を確保するために・・・リソースルーム(登校支援)
 - 〇 これまでの学習の遅れを補い、自分のペースで学習を進めたい生徒のために・・・リソースルーム(学習支援)
 - 〇 外国につながる生徒の学習を支える場として・・・国際教室
- 一般教室で行う授業を習熟度別に分けた小人数教室、複数の教員が連携し、生徒への支援を行う入り込み型授業等、様々な学びの形を取り入れています。

大鳥中学校のリソースルームと国際教室を紹介します

リソースルームには個別学習スペースのほか、テーブルやソファ、掲示板、本棚などの設備が充実しています



校舎内からだけでなく、

外階段の3階からも入ることができます

3階リソースルームの入口です

こちらは国際教室の入口です



生徒を継続的に支援するために以下のことを行っています

① 校内特別支援委員会

毎月1回定例の「校内特別支援委員会」を実施しています。また、必要に応じて臨時の委員会も開催しています。委員会は、校長・副校長・特別支援教育コーディネーター・生徒指導専任教諭・養護教諭・各学年主任・学習室担当教員で構成され、本校における対象生徒の情報共有と支援の方向性の確認を行っています。本校は研修を経て資格をとった特別支援コーディネーターの教員が4名在籍し、今年度も1名が研修を受講します。

② リソースルーム・国際教室等の利用提案

生徒から各教室への利用希望があった場合は、校内特別支援委員会において現状と今後の方向性を共有し、具体的な支援の在り方を検討します。その後、個人面談（教育相談）や保護者への電話連絡などの方法で、検討内容を伝えます。

③ 配布資料等

各教室の利用前に目的や留意事項を記載した資料を配布し、記入・提出をお願いしています。その後、本人および保護者との面談を通して最終確認を行います。また、担任が中心となり「個別の支援計画」および「個別の指導計画」を作成し、生徒一人ひとりに応じた学習支援に生かします。

④ 校内支援体制

本校では、校内ハートフル支援員1名と教員免許を有する職員室アシスタント1名の計2名体制で、生徒の時間割や出席状況の管理を行っています。

登校支援を目的とする場合には、その日の生徒の心身の状況に応じて活動内容を調整します。保護者が同伴して登校することも可能です。学習面の課題克服を目的とする場合には、必要に応じて小学校段階までさかのぼり、基礎から学び直しを行います。3年生においては、進路希望に合わせた問題演習など、受験を見据えた支援にも取り組んでいきます。

時間割の中に各教員が関わる支援の時間を位置付け、全教職員による支援を行う仕組みをつくっています。「大鳥中学校の全教職員で全生徒を支えています！」



スクールカウンセラー 6月の予定日

【渡辺 静 担当日】

6月9日（火）9時～16時
6月23日（火）9時～14時
6月30日（火）9時～16時

【東山 里緒 担当日】

6月4日（木）9時～16時
6月18日（木）9時～16時
6月25日（木）9時～12時半

ご予約希望の場合は大鳥中学校職員室へご連絡ください。

045-621-4500

相談室直通電話 045-621-4559（火曜・木曜のみ）もあります。

令和8年度 特別支援教育 校内保護者相談窓口

特別支援コーディネーター

椎谷 明仁
澁谷 朝美

上記2名が担当します。
よろしくお願ひいたします。

「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン(ｽﾎﾟｰﾂ庁)を
大鳥中の部活動に取り入れるために、学校が考えていること

部活動の「改革推進期間」は令和7年度に終わり、令和8年度から「改革実行期間(前期)」が始まります。後期の終了は令和13年度で「改革実行期間内に原則、全ての学校部活動において地域展開の実現」となっています。横浜市は140を超える中学校があり、改革を一律に進めることはできません。そのため、各校でできることを進め、生徒の文化・スポーツ活動が滞ることの無いようにしなくてはなりません。以下は、大鳥中学校として生徒の活動を滞らせないための取り組みです。

【「学校部活動」と「地域クラブ活動」を明確に分けます】

	月	火	水	木	金	土	日							
14時30分	授業(掃除含む)			授業(掃除含む)		大鳥中学校の 学校部活動	地域クラブ活動 可能時間							
15時00分	大鳥中学校の学校部活動													
15時30分														
16時00分														
16時30分														
17時00分								地域クラブ活動可能時間						
17時30分														
18時00分														
18時30分														
19時00分								学校開放事業						
19時30分														

【「学校部活動」時間の整理】

「学校部活動」を教職員の勤務時間中に行う活動として、はっきりと位置付けることを目指し、教職員の勤務時間(16時50分まで)にあわせて「学校部活動は17時まで」としました。

【「地域クラブ活動」をどう取り入れていくか】

この変更に伴い、市民の皆様に学校施設を利用していただいている18時30分からの「学校開放事業」までの間に約1時間30分の時間ができます。この時間を「地域クラブ活動可能時間」と位置付けます。今年度はこの「地域クラブ活動」を進めていくための実現可能な形を検討していきます。先行事例として野球部がこの活動を開始しており、平日は月・木曜日等に活動しています。

【活動の目的】

「地域クラブ活動」は生徒の興味・関心をさらに深めるとともに、技術の向上や競技力の向上、勝利の追求を目指します。これまでの部活動のよさを生かしながら、より専門的で充実した活動につなげていきます。

① 指導体制

指導者として外部指導者や市民ボランティアが参加します。野球部においては、大鳥中学校の教職員が勤務時間後に市民ボランティアとして指導しています。

② 活動場所・費用

活動は、これまでと同様に学校施設を活用して行います。また、令和8年度の費用は市の予算より計上していますので、保護者負担は今までと変わりません。

③ 今後の進め方

現在、校長が各部の部長に野球部の先行事例を紹介しながら、本校としての部活動の在り方について意見を聞いています。令和8年度は「地域展開」を見据えつつ、実現可能で持続可能な形を探る1年間と位置付けています。